



品質は語る……

白松が モナカ本舗

上生菓子で季節の味わい

「さくら餅」



餡の甘さと もち米の
やさしい風味をいかすために
選り抜いた桜の葉で
ひとつひとつ丁寧に包みました。

1個160円

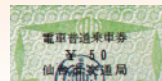
※直営店にてご用命をお待ち申し上げております。表示価格は消費税込みです。



旧き良き時代の
切符



昭和29年～37年往復乗車券



昭和49年～51年普通乗車券



のりかえ券

◎昭和51年
市電廃止記念
普通乗車券

電車普通乗車券
50円
仙台市交通局

記念乗車券



昭和51年3月
仙台市電廃止
記念乗車券



昭和27年10月第7回国体記念乗車券



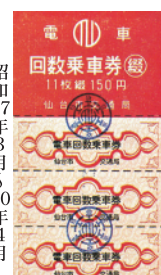
◎昭和11年市動物園創立記念観覧・乗車券



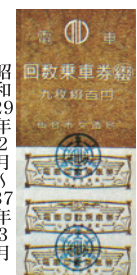
昭和45年4月～47年11月



昭和40年4月～45年4月



昭和37年3月～40年4月



昭和29年2月～37年3月



昭和23年8月～24年6月

回数乗車券

参考資料
「仙台市電―その50年―」
(仙台市交通局発行)
取材協力 仙台市電保存館
資料提供
「仙草堂」 庄子喜隆さん

仙台
市電廃止記念

大正15年11月25日～昭和51年3月31日



電車普通乗車券
50円
仙台市交通局

当時の記念切符を、今も大事に保存している方もいらっしゃるかもしれませんね。切符を見るだけで、当時の仙台の様子が見えてきます。

昭和初期の仙台駅舎と市電



50円
電車普通乗車券
仙台市交通局

それより少しお得に設定された

市電の時代には、タッチするだけで支払いができる便利なカード乗車券は、もちろんありません。「イクスカ(Iusca)」を持って行くすか?」ってわけにいかなかったかわりに、時代時代に味わいのある切符が発行されました。
大正15年の開業時の運賃は、一区間4銭。車掌さんが切符にハサミを入れました。運賃は昭和22年に1円になり、物価の上昇と共に、昭和26年に10円に、昭和40年に20円、45年に30円、47年に40円と、経済成長と共に値上がりし、49年に50円となって、51年の廃止まで続きました。

回数乗車券は、時代によって11枚つづり、28枚つづり、中には57枚つづりもありました。
イベントやお祝い事などに合わせた記念乗車券もいろいろ発行されました。大正15年11月25日の「仙台市電開通記念乗車券(A)」にはじまり、昭和11年4月1日には「仙台市動物園創立記念乗車券(B)」が、動物園ができたのは広瀬川沿いの評定河原(青葉区花壇)ですから、片平丁停留所あたりで降りして見物したのかもしれない。観覧券を兼ねて15銭でした。
昭和51年の市電廃止の際は、市電の歴史を振り返る写真や絵入りの記念乗車券が、何種類も発行されました。3月15日発行の「仙台市電廃止記念乗車券(C)」は、明治29年に描かれた「仙台市電待望図」という珍しい絵入りの変形判。50円券3枚つづりです。最終日の3月31日までの17日間を大いに盛り上げたことでしょう。
当時の記念切符を、今も大事に保存している方もいらっしゃるかもしれませんね。切符を見るだけで、当時の仙台の様子が見えてきます。